

林文子 横浜市長
鯉淵信也 横浜市教育長
齋藤 聖 横浜市こども青少年局長

学校休校要請に対する緊急要望

神奈川ネットワーク運動・青葉

昨夜、安倍総理大臣は、突然の小・中・高・特別支援学校に向けて、来週月曜からの臨時休校要請を行いました。

突然の要請に、学校関係、各事業者、そして保護者は動揺しています。

横浜市においては、この要請を受けて突然の対応を迫られている事態に、まずは、迅速かつ丁寧な対応をお願いしたく、また学校運営は、設置者即ち自治体の権限において行われるものであり、対応方針の決定にあたっては、冷静な判断に立って行われますよう、以下の留意点を考慮いただきたく要望いたします。

- ・子どもが休校になっても、保護者が休職出来る可能性は低く、子どもたちが孤立することのないよう、留守家庭への配慮は不可欠です。
- ・現在の感染拡大の危機を瀬戸際で支える医療・子育て・介護等従事者もまた保護者であることがあります。なんら手立てなく休校にした場合のリスクは甚大です。
- ・障がいなど、配慮が必要な子どもたちにとっては、学校は、支援の要であるため、一層の配慮が必要です。
- ・学童保育や放課後キッズクラブなど、長期休暇を預かる事業もまた保護者が担っている事が多く、本来の感染拡大の防止の観点からは、大人数を預かることは相応しい対応とは思えません。
- ・学校が居場所、食の支えになっている場合もあります。一斉に全ての門を閉じることなく、選択肢を提示してください。

2020年2月28日